

事務事業名 加茂岩倉遺跡管理運営事業		所属部 教育委員会	所属課 社会教育課	
総 計 画 体 系	政策名 (IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》	所属G 文化財・文化振興グループ	課長名 板垣 旭	
	施策名 (32)地域文化の振興	担当者名 志賀 崇	電話番号 0854-40-1104 (内線) 4751	
	目的 対 象 市民 意 図 統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 3 事業名 項 目 中事業 中事業 2 5 3 5 0 4 事業名	文化財保護事業	
	基本事業名 (096)地域文化の保存継承		加茂岩倉遺跡管理運営事業	
目的 対 象 市民 意 図 地域文化を次世代に伝える。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・加茂岩倉遺跡ガイドの維持管理 ・交流広場、駐車場、遊歩道等の管理 ・遺跡のガイド業務 ・イベント企画運営業務

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)				
	①賃金支払業務 ②光熱水費等維持管理費支払業務 ③委託契約業務 ④修繕対応業務	①賃金支払業務 ②光熱水費等維持管理費支払業務 ③委託契約業務 ④修繕対応業務				
	② 活動指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
	ア 修繕箇所	箇所	3	1	2	0
	イ 委託契約業務	件	11	11	10	10
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
	① 市民 ② 市外の人	ア 雲南市人口	人	40,548	40,055	39,472	39,458
		イ 市外人口	千人	127,475	127,258	127,043	126,871
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)	
遺跡及び周辺施設の整備、ガイドの充実、情報発信により、見学者に全国最多の銅鐸出土地として、その歴史・文化に理解関心を深める。	ア 見学者数	人	5,669	5,957	5,626	6,000	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
臨時職員賃金 2,022千円 作業員賃金 283千円 消耗品費 53千円 光熱水費 607千円 修繕費 78千円 食糧費 1千円 通信運搬費 112千円 手数料 5千円 管理運営委託費 2,940千円 使用料 25千円 賃借料 15千円 工事請負費 594千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	1,000	900	900	1,000
	その他	千円				
	一般財源	千円	5,114	4,797	5,835	1,537
	事業費計 (A)	千円	6,114	5,697	6,735	2,537
	人件費	人	1	1	2	
	正規職員従事人数	時間	116	176	180	
	延べ業務時間	千円	454	685	700	
	人件費計 (B)	千円	6,568	6,382	7,435	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
史跡整備や周辺整備事業の導入により、史跡としての環境が整ってきた。 尾道・松江線の全線開通により、遺跡来訪者の増加が見込まれる。	遺跡の管理、積極的な活用に向けて、地域、ボランティアが担えるよう環境づくりに努めている。	「施設ガイドの後継者づくりをしてほしい」との要望あり。 銅鐸出土状況の復元展示や解説パネルの劣化が指摘されている。

事務事業名	加茂岩倉遺跡管理運営事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	情報発信の充実、ボランティアガイドの育成により、成果の向上は期待できる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	遺跡及びガイドの管理運営を廃止すると、国指定の遺跡として成り立たなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似する施設がないため、統廃合は不可能。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		指定管理による管理運営の検討が必要となる。
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		指定管理による管理運営の検討が必要となる。
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		国指定の遺跡として管理運営、整備、公開を行っている。
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
遺跡周辺施設の除草等、環境整備、景観の保全に努めている。遺跡の十分な活用が図れているとは言い難い。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
火薬庫移転問題を解決し、効果的な管理運営、活用を行うために指定管理制度導入を検討する。 ガイドの方々が高齢になり、ガイド業務の継続が難しくなる事態が近いうちに発生する状況が予想されるため、後継ガイドの育成などが急がれる。 平成28年度に銅鐸出土20周年を迎えることから、改めて銅鐸出土の意義等を広く市民に理解していただくための事業を展開していく。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		